

日本視線誘導標協会

製品のご案内



協会加盟各社

- | | | |
|-----------|-----------|---|
| (株)アークノハラ | 〒160-0022 | 東京都新宿区新宿1-1-11 3F
TEL: 03-3351-9300 FAX: 03-3355-0639
https://www.arc-nohara.co.jp/ |
| (株)吾妻商会 | 〒335-0014 | 埼玉県戸田市喜沢南1-5-5
TEL: 048-443-0400 FAX: 048-445-3657
https://www.azuma-syokai.co.jp |
| 大塚刷毛製造(株) | 〒160-8511 | 東京都新宿区四谷4-1
TEL: 03-3355-2115 FAX: 03-3355-2116
http://www.safeeye.jp/ |
| (株)倉本産業 | 〒170-8417 | 東京都豊島区東池袋3-7-4
TEL: 03-3989-6736 FAX: 03-3989-6723
https://www.7tak.co.jp |
| 積水樹脂(株) | 〒105-7110 | 東京都港区東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター10F
TEL: 03-6758-1065 FAX: 03-6758-1084
https://www.sekisuijushi.co.jp |
| ニッタ化工品(株) | 〒104-0061 | 東京都中央区銀座8-2-1
TEL: 03-6626-5546 FAX: 03-6626-5562
https://www.nitta-ci.co.jp |
| 日本ライナー(株) | 〒135-0007 | 東京都江東区新大橋1-8-11 大樹生命新大橋ビル7F
TEL: 03-5638-7432 FAX: 03-5638-7435
https://www.nipponliner.co.jp |

※資料及びお問合せは各会員会社にご一報願います。

日本視線誘導標協会

1 デリネーター

**協会各社のデリネーターは、道路の状況に合わせて、
高性能・高品質・信頼性でお応えします！**

- 視線誘導標の設置基準は光学的、機能的に厳格な品質基準が定められていますが、協会各社の製品はこの基準の各項目を満足し、基準に適合しております。
- 最近の道路交通状況に適合し、反射性能と視認性に優れた光学設計をしてあります。
- 高気密で経年変化を少なくし、透明度が高く耐久性に富んでいます。
- 細部にまで実用的で行き届いたデザインが施された製品です。

(単位: cd / 10.76Lx)

■視線誘導標設置基準 (日本道路協会)

《反射性能》

反射体の反射性能は JIS D5500 に規定する反射性試験装置による試験結果が右表に示す値以上でなければならない。

反射体の色		白色			橙色		
入射角		0°	10°	20°	0°	10°	20°
観測角	0.2°	35	28	21	22	18	13
	0.5°	17	14	10	11	9	6
	1.5°	0.55	0.44	0.33	0.34	0.28	0.20

注) 上表は反射有効径が70mmの場合の値である。なお、70mmを超える場合には反射有効径が70mmとなるように、反射体をマスクで覆って測定した値とする。

■各種タイプ



ベース式



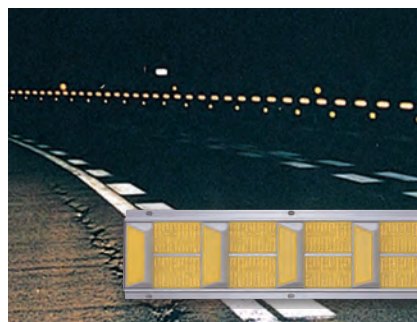
景観色デリネーター



コンクリート建込式



ガードレール(防塵)式



壁面取付式



パイプバンド式



ワイヤーロープ向け保安用品



大型(防塵)式



ガードレール差込(台型)式

2 道路鈺

道路鈺は、車線の誘導標示・歩車道との境界を反射鈺によってドライバーを安全に誘導します。歩車道境界ブロックに設置する貼付式タイプもあります。

■道路鈺の設置間隔推奨案 (道路視線誘導標協会推奨)

道路鈺の設置間隔は、危険防止と線形誘導するためには通常直線道路で2m、曲線道路では1m間隔での設置を推奨します。また、合分流・事故多発地帯や特殊な場所に関しては短い設置間隔が必要な場合もあります。

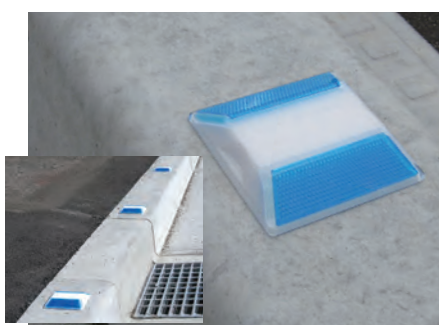
■設置場所

カーブ地点、見通しの悪い場所、濃霧多発地帯、変形交差点、交差道路、一時停止ヶ所、合分流の安全帯、橋梁、トンネル内、歩車道の境界などの事故多発地帯。

■設置例 (埋込式・貼付式)



センターライン (アルミ製脚付)



縁石 (樹脂製・貼付式)



縁石 (樹脂製・貼付式)



縁石 (樹脂製・貼付式)



縁石 (樹脂製・貼付式)



停止線 (アルミ製脚付)



縁石 (樹脂製・貼付式)



縁石 (樹脂製・貼付式)



縁石 (アルミ製脚付)

※上記の他、形状・材質が異なった道路鈺もございます。

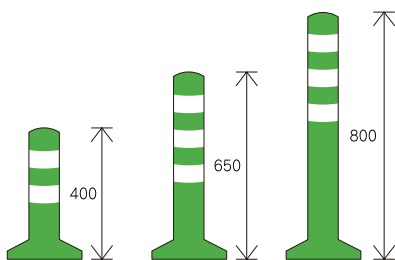
3 車線分離標

高速道路、一般道路での車を安全に誘導するために視認性や耐久性に優れたものを取り揃えております。昼間の視認性はもとより、夜間およびトンネル内の視認性に重点を置いた高輝度反射シートを使用した製品も用意しております。

※当協会の製品は転倒試験を行った製品です。

■ラバーポールの一般道での設置間隔推奨案

設置場所	推奨間隔
センターライン	2m
ゼブラゾーン	1m
交差点付近	1m
カーブゾーンの外側線	2m



※高さ(400・650・800・1000mm)は道路状況に応じ選定

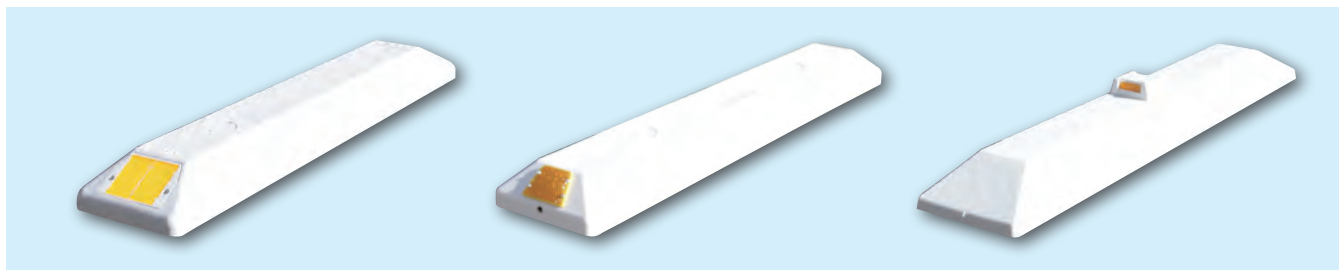


■設置例



4 樹脂製縁石ブロック

軽く、強く、作業性が良く、万一破損した場合には簡単に取り替えられます。撤去した場合はゴミを発生させません。



5 線形誘導標

危険箇所のカーブ地点などに設置する誘導標です。道路の線形が分かりやすく、夜間でも遠方からハッキリ確認できるので車を安全走行に導きます。現場に対応した各種製品を取り揃えております。

■設置例



アクリルレンズ式



アクリルレンズ式



反射シート式

6 自発光商品(ソーラー式)

■設置例





日本視線誘導標協会のご案内

本会は道路視線誘導標とその関連商品を製造するメーカーが道路視線誘導標の品質向上のために、品質や規格を定めてその普及と啓蒙宣伝、関係官公庁および関係団体との連絡等を目的とする協会です。

特に視線誘導標に関しては、各種設置基準に適合した商品を提供しております。